



てゆく。
 彼等は唱ふ
 「禁酒したせい、か財布が肥えた、うちの坊やはなほ肥えた」
 「禁酒して子の可愛さが別になり」と。
 寫眞は福岡三井田川の炭鑛で、赤坊の健康會を開いた時各方面から診斷されて一等を勝ち得た、名譽ある三兒である。いづれも其父母は飲酒をせぬ人々であつた。父母のいづれかが飲酒したものに、勿論父母とも飲酒するものにも、一人も一等兒はなかつた。
 三井田川の鑛山に設置されて居る禁酒會には四千近い坑夫會員があり、十一萬餘圓の貯金が積まれて居る。鑛山と禁酒、空論でなく事實がよりよき證明である。

河合谷の全村禁酒

更に五ヶ年を延長

禁酒後の成績が頗る良いので

村民満場一致で決す

大正十五年四月一日から向ふ五ヶ年を期して全村禁酒を断行して今日に到つた石川縣羽咋郡河合谷村では禁酒後の成績頗る良好なため去る二月三日村民大會を開き満場一致更に向ふ五ヶ年間即ち昭和十一年三月まで第二期全村禁酒を實行することとなつた

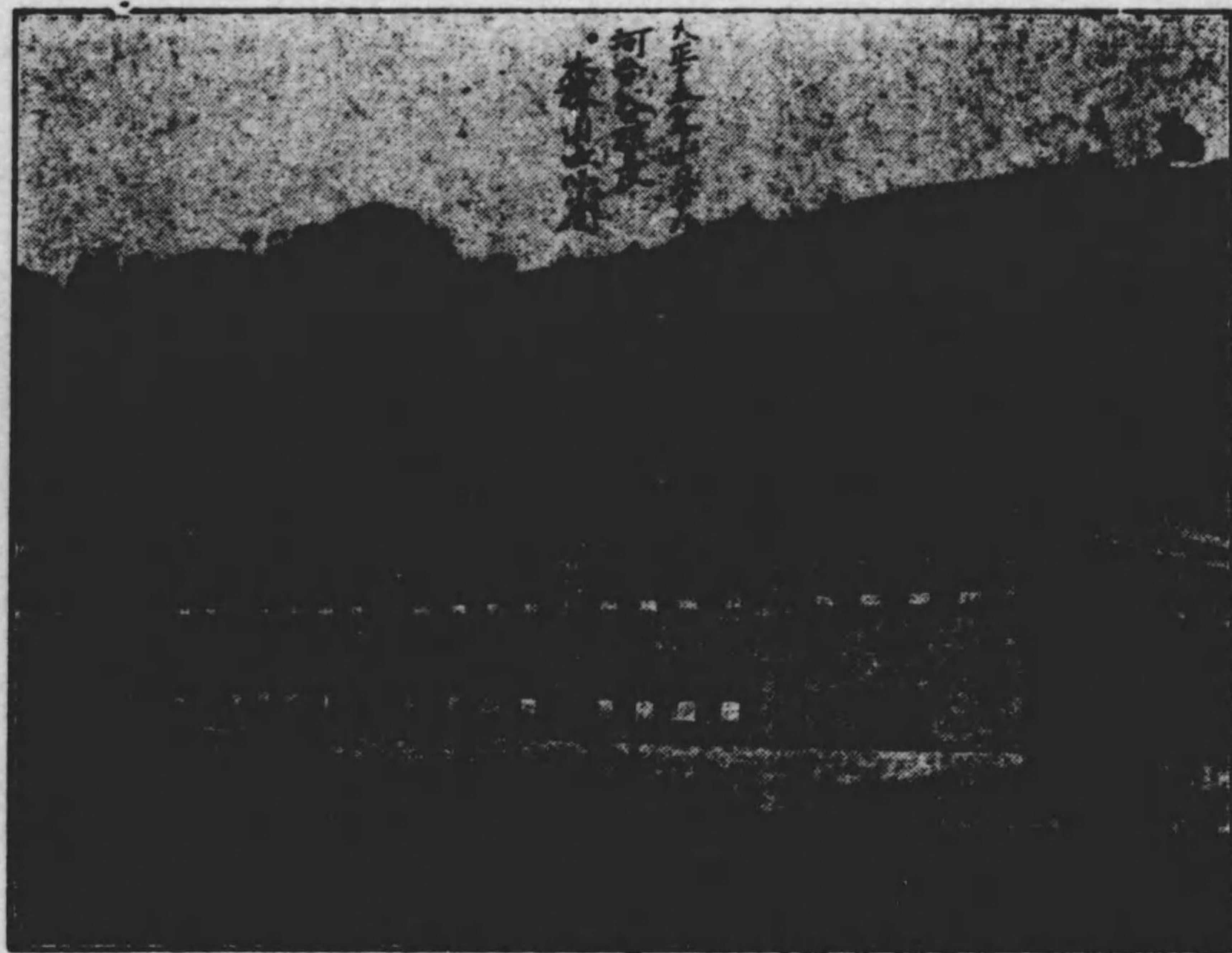
貯金は殖え病人は減る 家庭圓滿が妻子の喜び

河合谷村が全村禁酒を断行した當の目的は一ヶ年九千圓の酒代を積んで五ヶ年間四萬五千圓で小學校舎を新築するにあつたが、

その後成績ますます良好で豫定の如く四萬五千圓の小學校を建てたのみか、教育、經濟、衛生その他各方面において全く村内の面目を一新した。禁酒誓約當時の村長たりし森山忠省氏よりの最近の報告によつても、禁酒前に比して村民の經濟は著しく向上し産業組の貯金が

昭和元年三六九口、二萬七千八百十九圓であつたが昭和五年末現在には五二三口、三萬八千九百十二

河合谷の全村禁酒更に五ヶ年を延長



圓となり、郵便貯金は昭和二年一七八七口、四千七百九十七圓が昭和五年末現在二五四六口、九千三百九十五圓に増加した。

折柄の不景氣にも拘らず、全国的農村不況を外にして河合谷村のみは困難の中からも、五ヶ年間によく九一三四、一萬五千七百圓の貯金を増加し得たことは、全く驚嘆すべき好成績といはねばならぬ。

更に、従来一家の主人の酒代にあてられてゐた莫大の冗費が、教育、衛生等の方面に用ひられることとなつた結果、村民の衛生状態にも非常なる好結果を見るに至り。

同村一ヶ年の患者数は昭和元年二百六名であつたものが昭和五年に、は百十三人に、即ち九十三人、約五割の減少を見、又死亡率は人口千人につき禁酒前の大正十四年の十九人六分が昭和五年には十六人七分に減じ

更に出産千人に對する一年未満の乳兒死亡率は日本全國平均百五十六人が河合谷村では六十五人二分で、これ等禁酒のもたらした好結果は、村民をして更に左の規約の下に第二期五ヶ年禁酒を斷行せしむるに至つたのである。

第二期河合谷村自治改良會禁酒規約

- 第一條 本規約は本村自治改良規程の趣旨に基き協定せるものにして本村の財政困難を打開し兼て民衆の氣風を涵養するを以て目的とす
- 第二條 本村の住民は前條の目的を達せむがため昭和六年四月一日より向ふ五ヶ年禁酒を實行すべし但氏神祭禮建築の地鎮祭上棟式に要する御神酒婚禮の禮式に要するものはこの限にあらす
- 第三條 本村の住民は禁酒期間中左の諸項を遵守すべし
- 一、本村内に於ては酒類を販賣せざること
 - 二、本村内に於ては酒及酒券を贈答せざること
 - 三、本村内に於ては外來人に對して酒の賣應をなさざること
 - 四、住家門口に禁酒標札を貼付すること
- 第四條 此の規約に反したるものは相當の制裁を加ふることあるべし

(禁酒新聞より)

警視廳の面白い統計

犯罪者は酒呑が多い 風俗犯人は煙草好き

警視廳鑑識課では先般來昭和五年度における警視廳並に管下各署で取扱つた被疑者の嗜好、教育、配偶の有無等の諸關係について調査をなしてゐたが、この程その統計が出来上つた、まづ強盜犯を見ると合計一萬五百四十二人の中

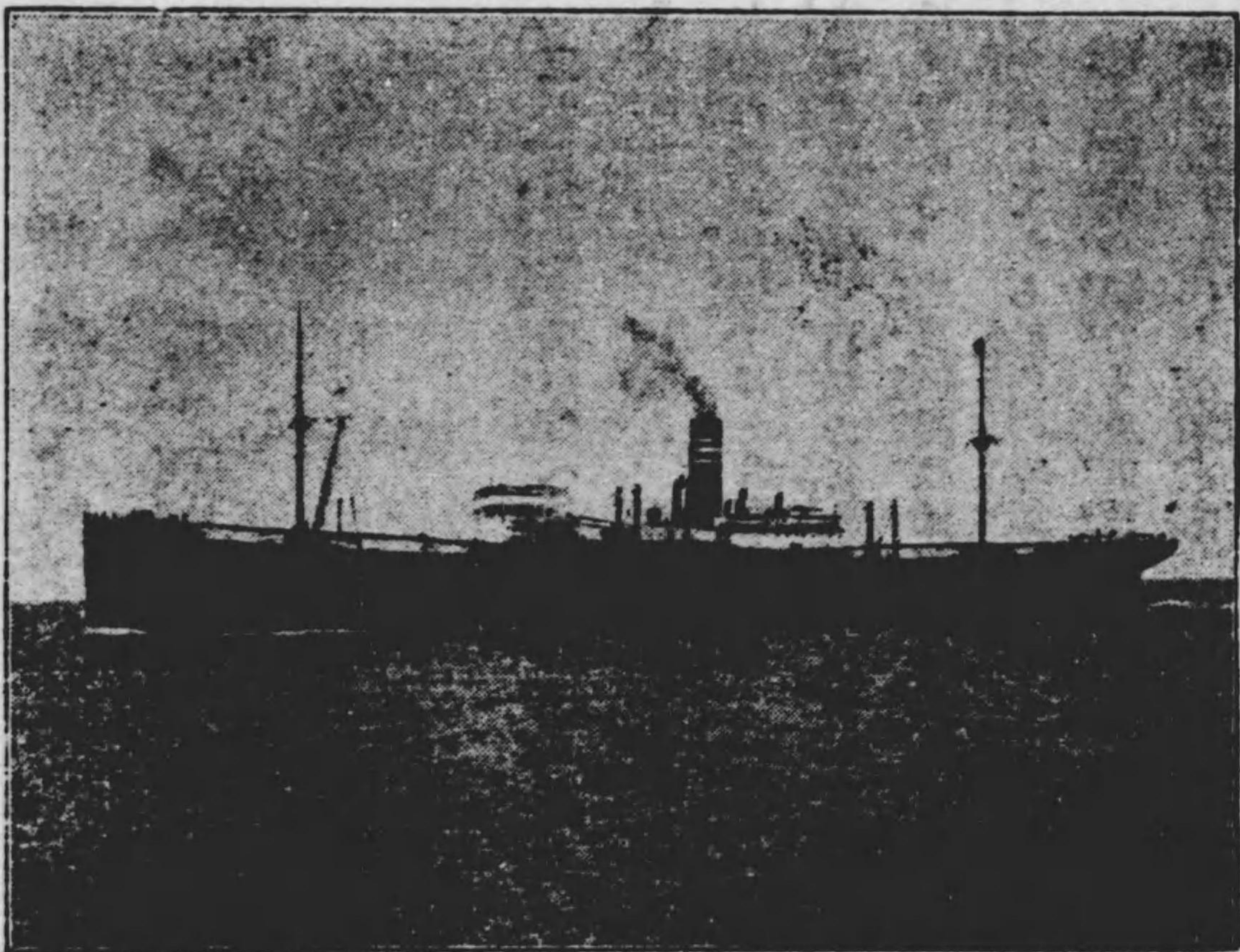
- ▲酒を好む者三千五百四十六人 ▲煙草二千八百九十
- ▲興行物一千二百六十一人 ▲勝負事二十七人
- ▲その他 二千八百十八人

といふわけで酒を好む者が首位を占めてゐるが、この外暴力犯が七百二十二人、智能犯が一千六百三十人で、これまた酒が第一位で酒は犯罪の直接原因をなすとはかりはいへないが、兎に角遠因をなしてゐると見てよからう。たゞ風俗犯だけはタバコが二

千三百三十八人の第一位で、酒は二千六百四十五人の第二位にあるはちよいと面白い。次は強盜犯の教育關係を見る。

- ▲無教育者九百五十四人 ▲義務教育未了三千廿六人
- ▲義務教育卒業五千六百五十三人 ▲中等卒業八百七十五人
- ▲高等教育程度三十四人

といふ統計で、小學卒業が一番多く、大學専門學校をへながら強盜を働く不心得者が三十四人あるのは遺憾至極、今度は配偶關係を見ると、強盜犯計一萬五百四十二人の中配偶者がある者が一千三百二人、獨身者が九千二百四十人で約八割五分を示してゐるが、矢張り家庭を持つてゐる者に犯罪は少く、ほとんど獨身者であるのは考へさせられる。(報知新聞轉載)



日本郵船の

りおん丸

酒なし航海に成功

横濱リヴァプール航海の貨物船りおん丸(七千八百噸)は見事五ヶ月間酒なし船として長航海に大成功をした。船長島井菊藏氏は高等商船學校の出身ガツチリした好漢だ。「船乗と酒」たれも一つにして居る中を、島井氏は貨物船の船長として、其部下七十名の船員と、五ヶ月の航海を始めやうとする前、一相談を開始した。それは自分等の船に、自分等の飲料として酒を積み込ますか、否かといふ事だつた、船が貨物相手なので、船客はない。積む酒は自分等のためなのだ、七十名の船員は、慎重に考へた、酒は積まずに出掛けやうと、相談は一決した、そして見事成功して歸つて來たのだ、何といふ勇ましきではないか、今船はまた出帆して海の上だ。大郵船の貨物船に酒なし航海のトップを切つた偉大な船の英姿はこれだ

(少年新報より)

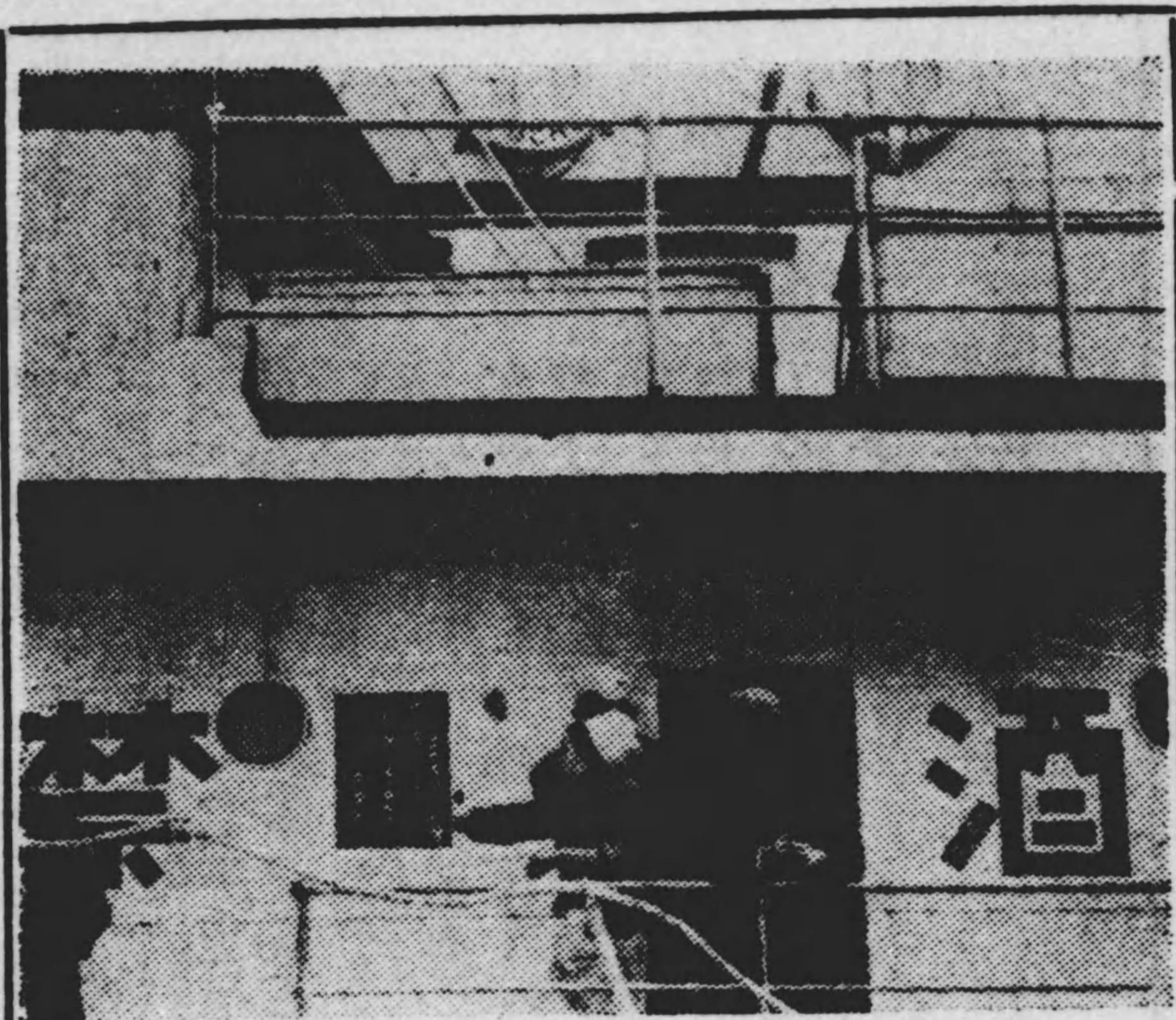
船員は下戸ぞろひ

禁酒船けさ芝浦へ

船長いはく「船内の空氣一變」
港々で宣傳しつゝ、

二十日早朝芝浦岸壁へ禁酒船志摩丸（二、〇〇〇トン）が横付された。ブリツチには「禁酒」と大きな文字板がかゝげられ、岩見船長、早川事務長以下船員等は貨物の荷揚を終るや、日本禁酒聯盟本部を訪れたが同船では昨年乗組員三十八名が禁酒を實行して以來滿一年になるとの事である。なほ志摩丸は大阪の攝津汽船の貨物船で小樽から芝浦へ入港したものであるが、二十日午後四時芝浦發西航のはずである。岩見船長はほがらかに語る。

「禁酒してから船内の空氣が一變して皆健康になつたばかりでなく能率もめき／＼上つて來ました。私共船乗の間でも最近禁酒熱が盛んになつて來て「海上禁酒聯盟」を組織し、現在二百餘名の加盟者があります、全船禁酒してゐるのはまだ數隻しかありませんが、十人二十人と乗組員が結束して



禁酒船

禁酒を實行してゐる船は十四五隻に上りませう、私共は港々で禁酒宣傳をやつてゐますが、追々その効果が現はれて居ります。海上遭難事故の多いのは一ツには海員が緊張しないからで、まづ禁酒を實行する事が第一と考へて居ります。

時々飲んだんぢやあ

禁酒にならねえ

船員達が偉い勢ひ

ケビンの外壁に大きく赤字で「禁酒」と書いた志摩丸は芝浦の岸壁から五間ばかり離れたもやひ、盛んに荷を下してゐる。記者が手でメガフォンを作つて「オーイ、本當に何時

でも禁酒かあ——？」と呼びかけると、船員が「時々飲んだんちや禁酒にならねえぞウ」とどなり返す、ケビンの中から仲間がぞろ／＼出て来てめい／＼が記者に答へて放送する。「ビール位は飲むのかあ——」「ビールだつて酒の中に入るぞウ」「盆と正月にはどうするか——」「お屠蘇だつて飲まねえぞ」そこへ白い帽子を冠つたコックさんがやつて来て「我々は絶対に禁酒だ、第一おれが飲ませねえ」と大見得を切る。

◇ 「禁酒といつても船の中だけだらう、陸へ上れば、パーヤカフェで飲むんだらう——」「絶対に禁酒といつてるぢやあねえか、船も陸もねえ、絶対に与こつそり飲んだ者は制裁でも加へるのか——」「去年の正月から禁酒してるが、まだそんな心不得な奴は一人もゐねえぞ」「船乗りが酒を飲まないで何の楽しみがあるか——」「古い事をいふな、おれ達の楽しみは茶話會だ」「もち菓子食つて踊るのか——」「もち菓子食つて楽しみめえ理窟があるか、酒飲んで楽しまねえで泣いたり喧嘩したりする奴があるぢやあねえか——」

◇ 彼等のいふところは、すこぶる論理的だ。

(東京朝日新聞轉載)

昭和六年三月二十五日印刷
昭和六年三月二十八日發行

禁酒讀本 定價金五拾錢

版 權 所 有

編輯兼 發行人 東京市外大久保百人町三六〇 守 屋 東
印刷人 東京市芝區愛宕町三ノ二二 宗 儀 イ ト
印刷所 東京市芝區愛宕町三ノ二二 東洋印刷株式會社

發行所 東京市外大久保百人町三六〇 少年禁酒軍
日本基督教 婦人矯風會
電話四谷五八五〇香
振替東京四七四五〇香

日本基督教會

日本茶の效用と 常用者の福音

醫學博士 諸岡 存

「茶は完全なる酒の解毒劑である」とよく世間では茶を喜んで飲む酒客があるが是等の人は、茶によつて漸次酒を追ひ拂ふ程度まで進まなければならぬ。

本草綱目に神農氏が「百草を嘗めて毒にあたり、茶を喫して解毒した」と書いてあるのを見ると、茶に解毒の效ある事は、餘程以前から知られて居るものと思はれる。

英國の心理學者モーズレー先生は「酒や阿片を以て苦痛を取り除かうとするのは恰

も借財をした人が、更に質屋に典物し又高利貸の金を借りて一時を彌縫するやうなものである。借りた金を拂はぬのみならず、彌が上にも高利をとられ、結局破産の他はない」と申されて居る通り、モルヒネや酒は責任感を取り去る爲に用ひられる。之に反して茶は、毒物の解毒劑であるのみならず傳染病其他を豫防する良藥である（諸岡博士喫茶養生記より）

「養生記は二錢切手封入下記へ申込されるは無代配付さる、東京芝區二ノ一茶業組合中央會議所」

財団法人 日本國民禁酒同盟概要

目的 全國禁酒同盟の聯絡統一をはかり、協力の力によつて禁酒の實現を高め、以つて我國を無酒國たらしめる。ロ、海外同盟國の提携して無酒世界の實現に努力する。

事業 1. 機關紙發行（禁酒の日本同盟を成す）
2. 出版（圖書、パンフレット、トラクト、レバ、ポスター、等）
3. 月刊（禁酒の日本）
4. 手冊（禁酒の日本）
5. 宣傳、教育（演説、講演、講習會、廣播の備し）
6. 指導（禁酒會創設の指導、相談、講師派遣、他國との提携）
7. 調査、研究（禁酒會の調査、研究）
8. 立憲運動（當局への請願、建議、對議會運動）

本部 東京市神田區表裏藥町十番地（省線水道橋驛南二丁、市電三崎町南半丁）に在り、總務、財務、組織、宣傳、編輯、調査、出版の七部より成る

（昭和五年十月現在）
加會費 附屬團體一千六百五十八。會員二十六萬餘。分布全國に及ぶ。

禁酒之日本

定例一部（送料共）十五錢
一ヶ年一圓六十錢
本邦内外の貴重圖書研究、ニュース等諸般

禁酒新聞

定例一部（送料共）五十錢
一ヶ年五圓十錢以上割引あり
新聞紙にて宣傳用の好式器、安くて爲になり興味津々
切手三十圓送れば「禁酒之日本」禁酒新聞」及びトラクト等數十種送る

東京市神田區表裏藥町一〇
日本國民禁酒同盟
電話東京五二七九〇番
神田三三五〇番

入會手引

個人の場合

- 一、禁酒を決心したら土地の禁酒會へお申込下さい
- 二、その地に禁酒會の無いときは直接東京市神田區表裏藥町一〇の禁酒同盟本部へ入會したいとお申込下さい
- 三、本部からお申込下さい
- 四、本部から入會申込書が届いたら記名印刷して御返送下さい
- 五、會費は一ヶ年二圓四十錢です（禁酒之日本）禁酒新聞料を含む）入會と同時に禁酒會東京五二七九〇番で御送金下さい
- 六、會員は常にメダルを佩用し（實費は分つ）
- 七、十名以上同志が出来たら禁酒會を組織し、會として同盟會へ御加入下さい
- 八、加入すれば禁酒の推進、禁酒新聞の刊行、活動上の指導、相談を受け得る等特典あり

國產愛用



臺灣紅茶

(少年禁酒軍本部取次)

少年禁酒軍出版目錄 研究圖書

少年禁酒軍 十四學者論議	國民禁酒の研究 (國六版四回〇頁)	禁酒讀本 (國六版一五八頁)	禁酒叢話 (國六版三三三頁)	佛教より見たる酒 最近版(パンフレット)	矢島楫子 (國六版二七一頁)	少年禁酒軍の 家	少年新報 一ケ年分
送料 十二錢	送料 十二錢	送料 十一錢	送料 十一錢	送料 二五錢	送料 十錢	送料 六一錢	送料 共
少年禁酒軍 メタル	少年禁酒軍軍歌	少年禁酒軍樂譜	少年禁酒軍 組織袋	愛國ホスター 五枚一組二色刷 新聞紙大器具付	愛國ホスター 三枚一組 十三度刷	少年禁酒軍本部	少年新報
送料 七錢八	送料 二錢	送料 二錢	送料 三十錢	送料 一組 六十錢	送料 一組 五十錢	送料 共	送料 共

發行所及取次所

東京府下大久保百人町三六〇
日本基督教
婦人矯風會

電話 四各五八五〇番
東京四七四五〇番

丸ビル眼科

醫學博士 内田孝藏

電話丸の内(23)二八二八番

醫學博士 内田孝藏著

一冊廿六錢

美眼整形のいろく

(附、唇、頬、整形術)

東京駅前 丸ビル眼科出版部

發售 東京二八三四〇番

共保生命

町本日本橋區芝市東區 社本



皆様の

幸福

幸福保障を

お薦めいたします

共保生命の特色は、

お薦めいたします



明るき
家に
保険あり

兼酒の餘裕を

保険化せよ!

家を富まし

國を豊にす

帝國生命

(品越内業業管)

内ノ丸京東

森永チョコトレ

もつとく

チョコトレートを召上れ

チョコトレートは人類の発見した最高の栄養品で、吾社製品の如きビタミンを多量に含み米飯等食品の不足する脂肪及び蛋白質に富む最も貴重な食料品であります。栄養は標準食に比して

蛋白質 二二・一% 脂肪 二六・七%

不足して居ります。然るに

標準チョコトレートは

蛋白質 七・九% 脂肪 三〇・八%

含水炭素 五八・〇%

と多くのビタミンを含んで居りますから我國に於ては最も必要な栄養補足品であります。此の際皆様の健康増進の爲にもつとくチョコトレートの御愛用をお奨め致します

森永チョコトレート・バラエティー

とろろ	チョコトレート
ミルク	チョコトレート
ストロベリー	チョコトレート
チョコレート	チョコトレート
ハート	チョコトレート



